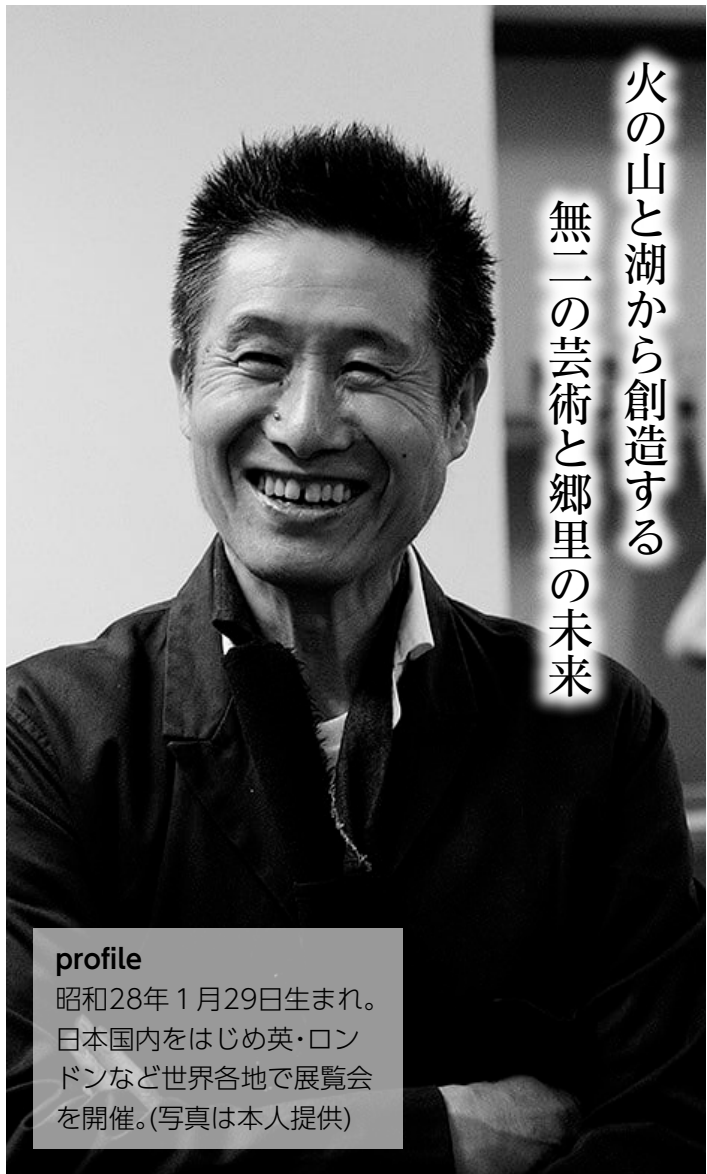




火の山と湖から創造する
無二の芸術と郷里の未来

profile

昭和28年1月29日生まれ。
日本国内をはじめ英・ロン
ドンなど世界各地で展覧会
を開催。(写真は本人提供)

Spotlight
スポットライト

陶芸家

道川 省三さん

THE IN BETWEEN (ザ インビトゥーン)。「間」を意味するその言葉を、故郷で初めて開く個展のテーマに掲げました。日本と世界を行き交った数多くの作品に触れ、生み出したその手でアートと町の人々をつなぐ特別な時間が洞爺湖芸術館で始まりました。生家があった洞爺湖温泉で少年時代を過ごしたのち、陶芸の本場、愛知県瀬戸市を拠点として独自の技術を追及。

通常は丸みを帯びた造形になりやすいろくろを使った陶芸に、円錐や三角を大胆に取り入れた表現を駆使して国際的な評価を集めました。その作風を生んだ感性は故郷の自然の中で培われまし

た。実家の裏からすぐ見上げられた有珠山は膨大な熱量を秘める活火山。反対には、常に静寂をたたえる洞爺湖が広がります。対照的な2つの自然の間で過ごし「誰もやったことのない自分だけのオリジナリティが芸術家なら必要。北海道の大自然のダイナミックさを表現することが自分の基本になっています」と語ります。欧米など世界で活躍する一方で力を注いでいるのがアートによるまちおこし。静岡県島田市笹間地区では陶芸イベントのディレクターを務め、過疎のまちに活力を呼び込んでいます。現在では、国外のアーティストも参加してくれるまでに成長したイベントとなりましたが「地元の理解が大事ですが、どうしても時間がかかります。そのまちが培ってきたものを生かすことが大切です」と語ります。

国際彫刻ビエンナーレが開かれ、今も彫刻群が湖畔に並ぶ洞爺湖にも大きな可能性を感じています。「洞爺湖町には高いポテンシャルがあります。まずは地元の人が自分のまちを見つめ、将来どうしたいのか考える『核』となるものができたなら」。洞爺湖と有珠山の狭間で育んでくれた陶芸が、町の今と未来をつなぐことを願っています。

東奔西走

最近、帰宅するために車に乗るとすぐに確認するのが外気温計。数値を見ては夜の寝苦しさを思っ

サマージャンボ7億円
(1等5億円・前後賞各1億円合わせて)
サマージャンボミニ同時発売

ネットでも買える！宝くじ

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

各1枚 300円
7月11日(金)発売!

発売期間 7/11(金)~8/11(月)

宝くじ公式サイト

公益財団法人北海道市町村振興協会